



教育委員会だより さいたま

第44号

発行日:令和7年6月27日(金)

～ Well-being 実現のために ～ 発行:さいたま市教育委員会



教育長メッセージ

さいたま市教育委員会 教育長 竹居秀子

「誰一人取り残さない教育」の実現を

教育行政を担う教育委員会の教育長による「第75回 全国都市教育長協議会定期総会並びに研究大会」が、今年度は川越市で開催され、全国から600名を超える教育長が集まり、学校教育や生涯学習・社会教育等における今日的な教育課題について協議を行いました。全国各地自治体の規模は違うものの、増え続けるいじめや不登校児童生徒への対応、働き方改革や部活動の地域展開、コミュニティ・スクールの推進など、課題は多岐にわたります。このような課題を踏まえ、ある分科会では、学校生活への適応が困難な子どもたちに対して、安心できる学習環境を提供し、寄り添いながら学習支援を行う校内教育支援センター「不登校対応校内分教室」について紹介していました。開設当初は学習の遅れを取り戻すことや学級復帰を目指すことに重点を置いていた当該教室も、時代とともに少しずつ比重が変化し、居場所や社会性も重視する方向へと転換を図っているということでした。

本市においては、「誰一人取り残さない教育」の実現に向け、昨年度は、全ての市立小・中及び中等教育学校(前期課程)において校内教育支援センター(Solaる一む)を導入し、さいたま市内どこに転校・進学しても多様な学びの場と居場所があるという環境を整えました。また、新たな選択肢として、不登校等児童生徒支援センター(Growth)の実績を踏まえ、デジタルと対面の特性を生かした学びの場と居場所として、令和8年4月に開校予定の学びの多様化学校「いろどり学園(小学部・中学部)」の準備を進めております。今年度は、校内教育支援センター(Solaる一む)の教育環境整備としての予算の確保と併せ、ボランティアの募集・確保・派遣と、各学校への指導助言を行う個別サポート指導員を総合教育相談室に増員しました。私は、各学校を訪問するたびに必ず校内教育支援センター(Solaる一む)を見せていただくのですが、緑や美しい絵、絵本やぬいぐるみを配置したり、パーテーションにより個別に学習できる空間を設定したりと、子どもたちが安心して過ごせる環境に配慮してくださっている様子を見るたびに感謝の気持ちがあふれてきます。また、今年度は、学びの多様化学校「いろどり学園(小学部・中学部)」を7月22日から8月8日の土を除く14日間、プレ開校します。現在、参加希望の小・中学生の学校での過ごし方やカリキュラムについて念入りに打ち合わせをしているところです。

今後も、学校生活への適応が困難な子どもたち、日本語を母語としないことや障害等により学びに不安や課題を抱える子どもたちの困難な背景にある障壁を取り除く視点から、全ての子どもがそれぞれの特性や意向に応じて活躍できる機会を、デジタルの力をフル活用しながら意図的に創出してまいります。今後も教育委員会と学校が力を合わせ、一人ひとりの子どもを主役とした学校教育を実現するために、これまでの日本型学校教育の良さを受け継ぎつつ、時代や社会の変化に応じ「誰一人取り残さない教育」の実現に向け勇往邁進してまいります。

教育長フォトレポート

教育長が参加した行事の様
活動の様子などをお伝えし
※教育長フォトレポートは[こちら](#)から



志
動

考
動

小学校教科担任制「さいたまモデル」の概要

記者会見
ムービーは
こちら→

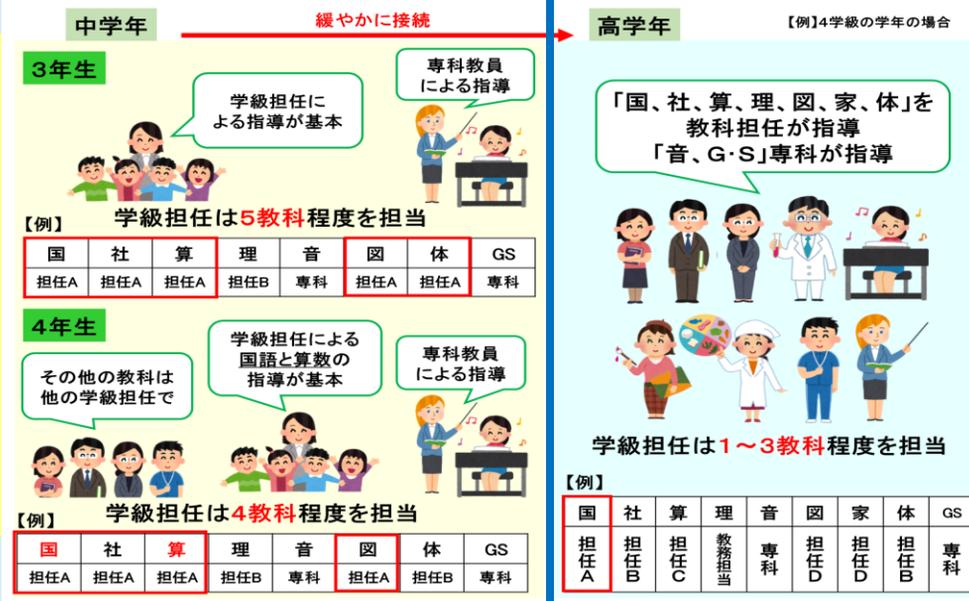


高学年に加えて 中学年も教科担任制を実施します

ねらい

- ・学びの質の向上
- ・教師の持ち時数の軽減
- ・低学年と高学年のゆるやかな接続

小学校低学年において、学級担任が全ての教科を担当し、学習面だけでなく生活面も含めた児童の成長を全般的に支えながら指導していることを考慮して、ゆるやかに学級担任の担当教科数を減らしていきます。



学年が上がるにつれて、徐々に学級担任の手を離れ、最終的に中学校の教科担任制へと円滑に移行します。

小学校教科担任制「さいたまモデル」の特徴

特徴1: 小・中9年間を見通した教科担任制の全市展開

「さいたま市小・中一貫教育カリキュラム」に基づく
「義務教育9年間を見通した教育課程の編成と指導体制の構築」

特徴2: 小学校専科教員の採用・配置

- ① 小学校グローバル・スタディ専科教員の配置
- ② 小学校音楽専科教員の配置



- ① 小学校グローバル・スタディ専科教員の配置
令和7年度現在: 91校に86人配置
- ② 小学校音楽専科教員の配置
令和7年度現在: 104校に121人配置 (臨時的任用教員を含む)

小学校教科担任制「さいたまモデル」(中学年教科担任制) 全校実施までのスケジュール

<令和7年度> ◇実践モデル校8校を指定(成果やノウハウを市立小学校へ提供)

<令和8年度> ◇移行期間

<令和9年度> ◇全ての市立小学校106校において実施

* 104校+令和8年度開校予定大和田小学校、いどろ学園小学部

「いとり学園小学部・中学部」のプレ開校を実施します

総合教育相談室 ☎:048-688-1453

概要

- 1 対象: いとり学園小学部・中学部に興味・関心があり、令和8年4月に転入学を考えている児童生徒
- 2 期間: 令和7年7月22日(火)～8月8日(金)の14日間 ※土日を除く
- 3 時間: 9時30分～15時35分 (ホームルーム及び授業5時間の体験)
- 4 内容: ①登校による体験 (各キャンパスに登校し、授業等を体験) ※1人3日まで体験可能
②オンラインによる体験 (自宅からオンラインで授業等を体験) ※プレ開校期間中、全ての日で体験可能

各キャンパススケジュール

1週目	7月21日(月)	7月22日(火)	7月23日(水)	7月24日(木)	7月25日(金)
		北 堀崎	あいば 岩槻 れっと	美園 岸町	北 堀崎
2週目	7月28日(月)	7月29日(火)	7月30日(水)	7月31日(木)	8月1日(金)
	あいば 岩槻 れっと	美園 岸町	北 堀崎	6キャンパス	あいば 岩槻 れっと
3週目	8月4日(月)	8月5日(火)	8月6日(水)	8月7日(木)	8月8日(金)
	美園 岸町	北 堀崎	あいば 岩槻 れっと	6キャンパス	美園 岸町

各キャンパスの設置場所・プレ開校時の受入れ人数

岸町キャンパス
浦和区岸町6-13-15 さいたま市教育研究所



1日
20名

北キャンパス
北区日蓮町2-1915-1 つばき小学校敷地内



1日
10名

堀崎キャンパス
見沼区堀崎町4-8-1 職員研修センター内



1日
30名



1日
30名

あいばれっとキャンパス
浦和区上木崎4-4-10 子ども家庭総合センター内



1日
20名

美園キャンパス
緑区美園4-19-1 美園コミュニティセンター3階



1日
10名

岩槻キャンパス
岩槻区本町3-2-5 ワッツ東館4階

プレ開校申込み状況

小学生 139名
中学生 61名
計 200名

時間割の例

	小学部Ⅰ (1～3年生)	小学部Ⅱ (4～6年生)	中学部 (1～3年生)
9:00～9:30	最寄りのキャンパスに登校 または オンライン準備		
9:30～9:55	朝のHR(健康観察・おはようメーター)、今日の予定の確認		
9:55～10:40	1時間目 ガイダンス・特活	ガイダンス・特活	ガイダンス・特活
10:40～10:50	休み時間		
10:50～11:35	2時間目 国語	算数	理科
11:35～11:45	休み時間		
11:45～12:30	3時間目 未来工房	国語	数学
12:30～13:30	昼休み(昼食) ※昼食持参		
13:30～14:15	4時間目 算数	社会	未来工房
14:15～14:25	休み時間		
14:25～15:10	5時間目 G・S	未来工房	国語
15:15～15:35	帰りのHR		

※時間割は日によって変わります。
※小学部Ⅰでは道徳・生活、小学部Ⅱでは理科・道徳、中学部では社会・道徳・他教科も行います。

開校までのスケジュール

【令和7年度】

4月25日～5月20日
7月22日～8月8日
8月1日～8月29日
1月上旬
1月下旬

プレ開校の児童生徒申込み
プレ開校実施
転入学申請書受付
転入学決定通知送付
転入学保護者説明会

【令和8年度】

4月1日

開校

【お問い合わせ】

さいたま市教育委員会事務局総合教育相談室
不登校等児童生徒支援係
TEL:048-688-1453(平日9:00～17:00)
E-mail:kyoiku-sogo-sodan@city.saitama.lg.jp

いとり学園に関する
情報はこちら



義務教育学校 校名アイデアの御応募ありがとうございました

本市では、浦和大里小学校・内谷中学校の既存校舎を活用し、義務1年生から4年生が通う二つの校舎と、新たに設置する義務5年生から9年生が通う「沼影新設校舎」をあわせ、3校舎で一つの義務教育学校の開校を目指しています。

新しい義務教育学校の3校舎の呼び方に現在の校名を残して、「浦和大里校舎」「沼影校舎」「内谷校舎」とし、三つの校舎を活用した義務教育学校全体の校名のアイデアについて募集を行いました。

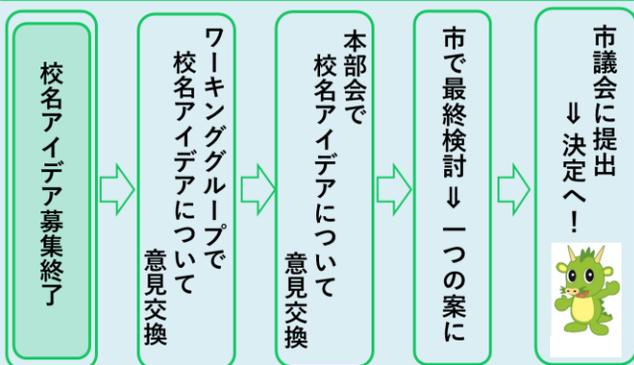
■ 募集期間 令和7年5月1日(木)～6月8日(日)

本募集は、計144名の保護者や地域住民の代表者に参加いただいている「武蔵浦和駅周辺地区義務教育学校開校準備委員会」での意見交換の結果を基に実施しました。



▲ 開校準備委員会本部会の様子

■ 校名決定までのフロー (イメージ)



たくさんアイデアを応募していただき、ありがとうございました。今後も、開校準備委員会で保護者、地域の方々と意見交換を行って、新しい学校づくりを行っていきます。

令和8年度採用(令和7年度実施)

さいたま市立学校教員採用選考試験の志願状況についてお知らせします

教職員人事課 ☎:048-829-1653

志願状況

※()内は昨年度の結果

志願区分	志願者数(人)	採用見込数(人)	倍率	大学3年生 Step Up 選考志願者数
小学校教員	390 (384)	100 (100)	3.9 (3.8)	85 (100)
中学校・高等学校 中等教育学校教員	494 (463)	100 (60)	4.9 (7.7)	89 (96)
特別支援教育 担当教員(小学校)	39 (40)	20 (40)	2.0 (1.0)	2 (5)
特別支援教育 担当教員(中学校)	16 (29)	2 (5)	8.0 (5.8)	0 (1)
養護教員	66 (58)	5 (5)	13.2(11.6)	12 (14)
栄養教員	45 (99)	3 (10)	15.0 (9.9)	4 (15)
合計	1,050(1,073)	230 (220)	4.6 (4.9)	192 (231)

令和8年度採用(令和7年度実施)さいたま市立学校教員採用試験の志願者数の合計は1,050人で、全体の倍率は4.6倍となりました。大学3年生Step Up選考を含め、今年度も昨年度と同様に多くの方に志願をいただいております。子どもたちの学びを支える熱意ある人材を迎えられるよう、取組を進めてまいります。